

令和4年9月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

西川 克己 議員

教育行政について

(1) 今後の県立高校の在り方について

- ・地域の小規模校において中学生・保護者に魅力を感じてもらうためにどのように取り組んでいくのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

少子化の進行により、離島・半島地域の県立高校では小規模化が進んでいる中、「学校を維持できなくなれば、その地域の活力は低下してしまう」との思いから、現在、各市町を訪問して、今後の県立高校の在り方などについて首長等と意見交換を行い、高校の担うべきビジョンの構築を図っているところであります。

引き続き、高校を核としまして、市町、地元企業等が参画する枠組の中でビジョンを明確にした上で、各地域の魅力やニーズに着目した学びについて協議をしまして、地元の資源を教材として活用するなど、地域の特性を生かした学びを実践してまいりたいと考えております。

このように、外部と連携しました探究的な学びの推進、あるいは地域産業が求めるスキルの取得など、それぞれの地域に根ざした特色ある教育活動を展開することで、生徒や保護者にとって、魅力ある学校づくりに取り組みますとともに、地域の活性化にもつなげてまいりたいと考えております。

(2) 県立高校運動部活動の活性化について

- 県立高校における運動部活動の支援について、どのような取組や継続した支援を考えているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

県立高校の運動部活動の支援につきましては、全国大会において入賞が期待できる場合等には、合宿や遠征等に要する活動費を支援しております。

また、全国大会あるいは九州大会に出場する場合には、旅費の助成を行っておりますが、特に経済的負担が大きい離島地区の高校に対しましては、県内であっても主要大会に出場する旅費や活動費を助成しております。

引き続き、県立高校の運動部の活性化に努め、全国の舞台で活躍する高校生の育成・強化を図ってまいります。

栃木国体が始まるが、国体を見据えた高校生の強化支援も大切であると考え
る。県の支援の状況についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

国民体育大会の少年種別で活躍が期待できる選抜チームや全国大会で優秀な成績を収
めている選手等に対しては、合宿や遠征等に要する強化費の支援を行っております。

引き続き、得点源となる少年種別の優秀な選手の育成・強化に努めてまいります。

(3) 水泳授業について

学習指導要領では、小中学校・高校の体育授業において、水泳授業は、どのよ
うな取扱いとなっているのか、また、本県の県立高校の取組状況はどのよう
になっているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

学習指導要領における水泳の授業につきましては、小学校から中学校2年までは必
修となっており、全ての児童生徒が、泳法や泳力の技能・知識の習得に取り組み、併
せて、水泳の事故防止における安全教育などを取扱うこととなっております。

また、中学校3年と高校におきましては、「水泳」、「陸上競技」、「器械運
動」、「ダンス」などの中から、選択して履修することとなっております。

なお、本県の県立高校におきましては、56校中7校にプールを設置しており、そ
のうち3校で水泳の授業が実施されております。

水泳授業において、どのような安全対策を行っているのかお尋ねでしたい。

(教育長答弁)

水泳の授業につきましては、水温や気温、残留塩素測定などの点検をはじめ、事前
の健康観察や複数名の教員による指導を行うなど、各学校が安全を十分に確保したう
えで実施しています。

また、水泳の授業が始まる6月には、長崎県薬剤師会と日本赤十字社長崎県支部の
協力のもと、プール管理者や指導者を対象に、プールの衛生管理、心肺蘇生法、水上
安全法などについて理解を深める講習会を実施するなど、水泳の授業における事故防
止に努めているところです。

水泳授業の充実と指導力の向上に向けて、どのような取組を行っているのかお
尋ねしたい。

(教育長答弁)

保健体育科の専門教員がない小学校におきましては、主に学級担任が水泳の授業を行うことから、その参考になるよう、水泳をはじめ、各運動の指導内容や留意点等をまとめた授業プログラムを県のホームページ上で紹介しています。

また、希望する小学校には、県水泳連盟の指導者を派遣し、児童への技術指導や教員への指導法のアドバイスを行うなど、水泳の授業の充実と教員の指導力向上に取り組んでおります。